

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公表番号】特表2000-506514(P2000-506514A)

【公表日】平成12年5月30日(2000.5.30)

【出願番号】特願平9-527719

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 49/04

A 6 1 B 17/12

【F I】

A 6 1 K 49/04 B

A 6 1 B 17/12

A 6 1 K 49/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成16年1月27日(2004.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 16.1.27 年 月 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿



1. 事件の表示 平成9年特許願第527719号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 マイクロセラピューティックス インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔

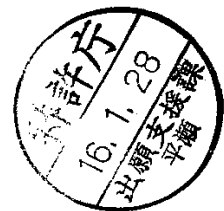


4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. ヒト以外の患者の血管内で脈管部位に塞栓形成する方法であって、この方法が、

(a)塞栓形成すべき脈管部位に、カテーテルを介して1つの非粒子物質又は複数の前記物質を導入し、かつ、

(b)生体適合性ポリマー、生体適合性溶媒、及び平均粒子サイズが約10 μ m以下の非水溶性造影剤を含有するポリマー組成物を、前記血管部位に、カテーテルを介して供給することを含み、

前記供給は、ポリマーの沈殿物が前記脈管部位で原位置形成し、それによって、血管塞栓を形成し、かつ前記非粒子物質が前記沈殿物内に被包されるような条件下で行われることを特徴とする脈管部位に塞栓形成する方法。

2. ヒト以外の哺乳類の患者の動脈瘤に塞栓形成する方法であって、この方法が、

(a)動脈瘤腔内に、カテーテルを介して1つの金属コイル又は複数の金属コイルを導入し、かつ、

(b)生体適合性ポリマーと、ジメチルスルホキシドと、タンタル、タンタルオキシド、タングステン、及び硫酸バリウムから成る群より選択された非水溶性造影剤とを含有するポリマー組成物を、カテーテルを介して、前記動脈瘤腔に供給することを含み、前記非水溶性造影剤の平均粒子サイズが10 μ m以下であり、

前記供給は、ポリマーの沈殿物が動脈瘤腔内で原位置形成し、それによって、動脈瘤を閉塞し、かつ前記金属コイルが前記沈殿物内に被包されるような条件下で行われることを特徴とする動脈瘤に塞栓形成する方法。

3. 前記生体適合性溶媒が、ジメチルスルホキシド、エタノール、及びアセトンから成る群より選択されたものである請求項1に記載の方法。

4. 前記生体適合性溶媒が、DMSOである請求項3に記載の方法。

5. 前記非水溶性造影剤が、タンタル、タンタルオキシド、タングステン、及び硫酸バリウムから成る群より選択されたものである請求項1に記載の方法。

6. 前記非粒子物質が、1つの金属コイル又は複数の金属コイルである請求項1に記載の方法。
7. 前記金属コイルが、白金コイルである請求項2又は5に記載の方法。
8. 前記造影剤が、タンタルである請求項1又は2に記載の方法。
9. 前記ポリマー組成物が、約0.05~0.3cc/分の速度で、動脈瘤に注入されることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。
10. 前記ポリマー組成物が、少なくとも0.6cc/分の速度で、動脈瘤に注入されることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。
11. (a)生体適合性ポリマー、生体適合性溶媒、及び非水溶性造影剤を含有するポリマー組成物と、
(b)1つの非粒子物質又は複数のそのような物質と
を含んで成る患者の血管内で脈管部位に塞栓形成するためのパーツキット。
12. (a)生体適合性プレポリマー、及び非水溶性造影剤を含有するプレポリマー組成物と、
(b)1つの非粒子物質又は複数のそのような物質と
を含んで成る哺乳類の患者の動脈瘤に塞栓形成するためのパーツキット。
13. 前記キットが、さらに生体適合性溶媒を含むものである請求項12に記載のパーツキット。
14. 前記生体適合性溶媒が、ジメチルスルホキシド、エタノール、及びアセトンから成る群より選択されたものである請求項11又は13に記載のパーツキット。
15. 前記生体適合性溶媒が、ジメチルスルホキシドである請求項14に記載のパーツキット。
16. 前記非水溶性造影剤が、タンタル、タンタルオキシド、タングステン、及び硫酸バリウムから成る群より選択されたものである請求項11又は12に記載のパーツキット。
17. 前記非粒子物質が、1つの金属コイル又は複数の金属コイルである請求項11又は12に記載のパーツキット。
18. 前記金属コイルが、白金コイルである請求項17に記載のパーツキット。
19. 前記キットが、さらに前記ポリマー組成物を供給可能なカテーテルを含むも

のである請求項11又は12に記載のパーツキット。

20. 前記ポリマー組成物を供給可能なカテーテルが、前記非粒子物質も供給可能なものである請求項19に記載のパーツキット。

21. 前記キットが、さらに前記非粒子物質を供給可能なカテーテルを含んで成る請求項19に記載のパーツキット。

22. ヒト以外の患者の血管内で脈管部位に塞栓形成する方法であって、この方法が、

(a)塞栓形成すべき脈管部位に、カテーテルを介して1つの非粒子物質又は複数の前記物質を導入し、かつ、

(b)生体適合性プレポリマー及び造影剤を含有するプレポリマー組成物を、前記脈管部位に、カテーテルを介して供給することを含み、

前記供給は、前記プレポリマーが前記脈管部位で原位置重合し、それによって、血管塞栓を形成し、かつ前記非粒子物質が前記ポリマー内に被包されるような条件下で行われることを特徴とする脈管部位に塞栓形成する方法。

23. 前記プレポリマー組成物が、さらに生体適合性溶媒を含有するものである請求項22に記載の方法。

24. 前記生体適合性溶媒が、ジメチルスルホキシド、エタノール、及びアセトンから成る群より選択されたものである請求項23に記載の方法。